

原議保存期間	5年（令和9年3月31日）
有効期間	一種（令和9年3月31日）

警視庁交通部長
各道府県警察本部長
（参考送付）
各管区警察局広域調整担当部長
警察大学校交通教養部長

警察庁丁規発第141号
令和3年10月22日
警察庁交通局交通規制課長

地球温暖化対策計画の改定について（通達）

地球温暖化対策については、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）等に基づき、各種施策が推進されてきたところであるが、本日、同法第8条第1項に規定する地球温暖化対策計画が改定され、「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減する」という目標が掲げられた。

同計画には、交通警察関係施策として、別添のとおり、信号機の集中制御化、信号機の改良・プロファイル（ハイブリッド）化及び信号灯器のLED化の推進が盛り込まれていることから、各種事業の実施等に当たっては、温室効果ガス削減に向けた取組により一層配意されたい。

なお、「地球温暖化対策計画の決定について」（平成28年5月18日付け警察庁丁規発第49号）は廃止する。

地球温暖化対策計画（抄）

第2章 温室効果ガスの排出削減・吸収の量に関する目標

第1節 我が国の温室効果ガス削減目標

我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。

第3節 温室効果ガス別その他の区分ごとの目標

1. 温室効果ガス

(1) エネルギー起源二酸化炭素

(前略) エネルギー起源二酸化炭素については、2030年度において、2013年度比45%減の水準（約677百万t-CO₂）にすることを目標とする。

第4節 個々の対策に係る目標

前節で設けた2030年度における温室効果ガス別その他の区分ごとの目標及びエネルギー起源二酸化炭素の部門別の排出量の目安を達成するため、具体的な数字の裏付けのある個々の対策について、我が国全体における対策評価指標、排出削減見込量、対策を推進するための国の施策、地方公共団体が実施することが期待される施策例等を規定することとし、各分野・区分ごとに表形式で示す（別表1～6参照）。

第5節 計画期間

計画期間は、本計画の閣議決定日から2030年度末までとする。

第3章 目標達成のための対策・施策

第2節 地球温暖化対策・施策

1. 温室効果ガスの排出削減、吸収等に関する対策・施策

(1) 温室効果ガスの排出削減対策・施策

① エネルギー起源二酸化炭素

D. 運輸部門の取組

(c) 道路交通流対策

(前略) 信号機の集中制御化などの高度道路交通システム（ITS）の推進、プロファイル化などの信号機の改良、信号灯器のLED化などの持続可能でグリーン化を推進する交通安全施設等の整備、自動走行の推進、二酸化炭素の排出削減に資する道路交通流対策を推進する。

地球温暖化対策計画における警察関連施策一覧

具体的な対策	各主体ごとの対策	国の施策	地方公共団体が実施することが期待される施策例	対策評価指標及び対策効果						
				対策評価指標	省エネ見込量	排出削減見込量	省エネ見込量及び排出削減見込量の積算時に見込んだ前提			
29. 道路交通流対策(高度道路交通システム(ITS)の推進(信号機の集中制御化))										
高度道路 交通システム (ITS)の推進 (信号機の 集中制御化)	-	信号機の集中制御化の 推進	信号機の集中制御化	信号機の集中 制御化 (基)	(万kL)	(万t-CO ₂)	<ul style="list-style-type: none"> ・集中制御化された信号機1基当たりのCO₂改善量(2020年度基準) ・対策評価指標:信号機の整備予定基数 ・排出削減見込量は、対策の累積導入量による効果に基づき計算 			
				2013 年度	48,800	2013 年度		-	2013 年度	133
				2025 年度	52,700	2025 年度		-	2025 年度	144
				2030 年度	-	2030 年度		-	2030 年度	150

30. 道路交通流対策(交通安全施設の整備(信号機の改良・プロファイル(ハイブリッド)化))										
交通安全施設 の整備(信号機 の改良・プロ ファイル(ハイブ リッド)化)	-	信号機の系統化、感応化 等の推進	信号機の系統化、感応化 等	信号機の改良 (基)	(万kL)	(万t-CO ₂)	<ul style="list-style-type: none"> ・改良等された信号機1基当たりのCO₂改善量(2020年度基準) ・対策評価指標:信号機の整備予定基数 ・排出削減見込量は、対策の累積導入量による効果に基づき計算 			
				2013 年度	42,000	2013 年度		-	2013 年度	47
				2025 年度	49,700	2025 年度		-	2025 年度	52
				2030 年度	-	2030 年度		-	2030 年度	56

31. 道路交通流対策(交通安全施設の整備(信号灯器のLED化の推進))										
交通安全施設 の整備(信号灯 器のLED化の 推進)	-	信号灯器のLED化の推進	信号灯器改良(LED化)	LED信号灯器 (灯)	(万kL)	(万t-CO ₂)	<ul style="list-style-type: none"> ・LED式信号灯器1灯当たりのCO₂改善量 ・信号灯器改良の予定灯器数 ・2030年度の全電源平均の電力排出係数:0.25kg-CO₂/kWh(出典:2030年度におけるエネルギー需給の見通し) ・排出削減見込量は、対策の累積導入量による効果に基づき計算 			
				2013 年度	346,800	2013 年度		-	2013 年度	6.5
				2025 年度	770,900	2025 年度		-	2025 年度	12.2
				2030 年度	935,400	2030 年度		-	2030 年度	11.0